土砂災害防止基礎調査業務（芦屋市）
935万8755円　かんこう
予1183万　低935万7332円
▽奥池（1）I地区家屋調査業務（その2）（芦屋市奥池町）
654万　浜名技術コンサルタント
予690万　低548万7337円
▽（二）武庫川水系武庫川南武橋南武橋二期工事（西宮市東鳴尾町から尼崎市元浜町）
2億9310万　川西土木
予3億2150万　低2億7330万（失格基準価格）　調2億9310万（2月1日）

▽（主）大阪伊丹線歩道リニューアル工事（1工区）（尼崎市口田中）
4240万　大日建設
予4684万　低4230万1538円
▽淀川水系神崎川護岸改良詳細設計業務（尼崎市杭瀬寺島）
379万　バンス
予476万　低378万8953円
▽西宮土木管内（西宮市）土砂災害防止基礎調査業務（西宮市）
2879万4千　ダイヤコンサルタント
予3630万　低2878万9603円
▽武庫川水系武庫川現場技術業務委託（その1）（尼崎市稲葉荘）
1360万　吹上技研コンサルタント

▽武庫川水系武庫川現場技術業務委託（その2）（西宮市戸崎町）
1550万　ピーエムコンサルタント
▽園田西武庫線（都）園田西武庫線（藻川工区）家屋事後調査業務委託（その3）（尼崎市東園田町）
140万　洸陽

●神戸市行財政局（1月27日）

▽神戸海洋博物館中央監視設備等改修工事（中央区波止場町2―2）
5043万8千　岩本電気
予5466万　低5042万2300円（2月1日）
▽甲栄台1丁目地区他汚水管改築更新工事（北区甲栄台1丁目他）
7307万　永川組建設
予8070万5千　低7305万9100円（2月8日）
▽東部在宅障害者福祉センター屋上防水改修工事（灘区岩屋北町6丁目1―4）
1120万　中村瀝青工業
予1219万　低1117万5400円
▽夢野住宅3―8号棟外壁改修他工事（兵庫区湊川町6―8丁目）
1億4835万　クニエ務店
予1億5650万　低1億4596万0600円
▽下山手通4丁目地区他汚水管改築更新工事（中央区下山手通4丁目他）
1億5216万8千　丸正建設
予1億6730万7千　低1億5196万9300円
▽西部処理場2系4・5号最初沈殿池汚泥かき寄せ機機械設備他工事（長田区南駒栄町1―44）
2億0520万　神鋼環境ソリューション
予2億2023万4千　低2億0466万3900円
▽住吉川立坑他水質自動監視装置新設工事（東灘区西岡本2丁目42―10（住吉川立坑）、灘区薬師通1丁目2―2（灘中層ポンプ場）、東灘区西岡本4丁目36―1（東灘低層配水場））
6327万　大同電機製作所
予6730万9千　低6219万1600円
▽神出高層配水池入水制御設備他更新工事（西区神出町田井字大鳥喰下887―1）
3234万　木内計測
予3508万　低3228万5100円（2月10日）
▽須磨事業所駐車場屋根塗装他改修工事（須磨区小寺町2―5―16）
3952万5千　丸強建設工業
予4269万　低3942万8700円
▽赤坂通7丁目地区他汚水管改築更新工事（灘区赤坂通7丁目他）
1億3700万4900円　塩屋基礎
予1億5085万4千　低1億3696万5100円
▽無名（2651）橋補修工事（北区山田町下谷上地内）
2406万5千　日本ロード・メンテナンス
予2697万7千　低2405万9100円

●川西市契約検査課（1月11日）

▽養護老人ホーム満寿荘熱吸収式冷温水機修繕（湯山台2丁目地内）
不調
▽養護老人ホーム満寿荘ファンコイルユニット修繕（湯山台2丁目地内）
363万　中川電気工業
予476万3636円（2月7日）
▽市立桜が丘小学校エレベーター設置工事（日高町地内）
1億3575万2211円　一吉工業
予1億5000万　調1億3575万2211円（2月8日）
▽市道55号外橋梁補修設計業務委託（きぼうのかけ橋外2橋）（山下町外地内）
1448万8800円　エイト日本技術開発
予1811万1千　低1448万8800円
▽清流台地内除草等業務委託（清流台地内）
367万　小谷組
予407万8千
▽虫生墓地周辺市有地樹木伐採等業務委託（清和台西2丁目地内）
241万5800円　荒木造園土木
予257万
▽一の鳥居老人福祉センター敷地南側ネットフェンス修繕（長尾町地内）
95万　北摂土木
予142万

京都府

●京都府（2月7日）

▽煤谷川流域治水対策河川（加速化1級・防災安全）業務委託（山南4流対河（加防1）第1018号の2の2）（精華町菱田～下狛地内）
2350万　望月測量設計事務所
予2568万7千　低2052万4千
▽煤谷川流域治水対策河川（加速化1級・防災安全）業務委託（山南4流対河（加防1）第1018号の2の1）（精華町下狛地内）
2150万5千　セントラルコンサルタント
予2701万9千　低2150万5千（2月10日）
▽木津川流域下水道洛南浄化センター建設工事（第1ポンプ棟受変電設備更新）（八幡市八幡焼木地内）
5億7000万　日新電機
予6億0225万6千　調5億5125万7千

●京都市（2月10日）

▽路面復旧工事（南区新千本通、十条通～府道中山稲荷線他地内）
1億2783万3千　中川道路
予1億3951万　低1億2783万3千

予告

大阪府

★豊中市契約検査課【3月3日開札】

▽指名競争・電子入札・豊中市立北条小学校渡り廊下耐震補強電気設備工事（北条町2丁目16番1号）
▽指名競争・電子入札・豊中市立東豊中小学校渡り廊下耐震補強電気設備工事（東豊中町5丁目1番1号）
▽指名競争・電子入札・豊中市立東豊台小学校渡り廊下耐震補強電気設備工事（東豊中町6丁目2番1号）

取りやめ

★国土交通省近畿地方整備局契約課【4月4日開札】

▽建設業BCP審査資料作成業務

★国土交通省紀南河川国道【2月24日開札】

▽新宮国道維持出張所非常用発電設備更新工事

インタビュー

企業の枠を超えたDX推進

事務の現場から生まれた「関西建設業界勉強会」

三和建設㈱（大阪市）
アシスト本部情報企画グループ
江畑（えばた）　早苗（さなえ）さん

全ての業界でDXは一刻を争う課題となっている。しかし、IT人材が不足している業界の中小企業では、「DXに着手することもままならない」という声もある。解決する一つの手段として、同じ業界内で同じような課題を抱える複数企業が人材を育成する選択肢がある。その好事例として、関西に拠点を置く、三和建設、三国産業、ファンテックの3社によるプロジェクト、建設業合同IT勉強会（通称）関西建設業界合同勉強会」の取り組みがある。三和建設ではアシスト本部の情報企画グループに所属し、同プロジェクトではキーパーソンとして活躍する江畑早苗氏に取り組みの詳細を聞いた。

◇　◇

―プロジェクト立ち上げの経緯は。

「建設会社同士で学べる場を創出する取り組みは、ノンプログラマー協会（福岡県糸島市）が提供する越境学習のコミュニティー、『ノンプログラマーのためのスキルアップ研究会（ノンプロ研）』に加入したことがきっかけだった。ノンプログラマーとは、プログラミングを本職としないビジネスパーソンのことで、個人では2021年8月に入会。それ以降、社内でプログラミング言語『GAS』を活用した業務効率化に取り組んだ」

「その一方で新しい課題も生まれた。社内からGASを使ったツール作成の依頼が増え、作業が追いつかなくなり、メンテナンスや運用が私に属人化してしまった。良いツールを作るためには業務内容を熟知している必要があるが、個人の知識と想像力ではツールの制作業務が間に合わず、限界もあった。周囲も巻き込んでデジタル人材の育成を進め、GAS仲間をつくりたいという思いが強くなっていた。そんな中、同じ業界のノンプロ研仲間である、ファンテックの加藤直史氏との何気ない会話から『会社の枠を超えてIT勉強会をやろう』というアイデアが生まれた。ここから個人の勉強が他社に拡大した」

―勉強会で生まれた意識の変化とは。

「3社共通の課題は、重複内容を転記するような無駄な作業と、再利用できない、されないデータを日々量産していたことだった。そこで課題を解決するため、受講生はGoogleスプレッドシートの関数を学び、DX推進につなげるスキルを学んだ。卒業LT（ライトニングトーク）の場では、講座内容を大幅に超える業務改善の取り組みもあり、想像以上の効果があった。理想的なデータ同士の連携を理解した上で、利活用も可能な効果的なデータを作ろうという意識が高まった」

「その上で、自分たちが抱えている業務に対して、棚卸しする意識が習慣化した。スプレッドシートによる作業の自動化で、人力だけで処理するしかないと思っていた業務を、ITで省力化する発想が定着した。3期目以降は事務職だけでなく、現場職でも参加できるように、現場向けのカリキュラムを新設していく」

―勉強会に期待することは何か。

「勉強会の効果で、当社ではさまざまなデータが日々整備されている。この先、さらに利活用できるデータが増えていくだろう。データの蓄積・統合が進むことで、企業の戦略的な意思決定を支援するデータにつながる予感があり、改善のスピードの速いアジャイル型組織になっていけるという期待もある。今後も勉強会を通して、会社全体でIT力を高めてきたい」

（東京支社ビジネス開発事業部＝大西正太）

会社全体でIT力を高める

社会的地位向上を目指した活動継続

全国路面切削連合会

全国路面切削連合会（松村健司理事長）が設立10周年を迎えた。松村理事長＝写真＝は、「正会員は49社から92社にまで増え、全国の切削専門工事会社の約70％を会員が占めている。今後も会員の社会的地位向上を目指した活動を継続したい」と話している。

連合会は、路面切削工、切削オーバーレイ工の積算歩掛について、現況に即した積算価格の改定を設立当初から国土交通省と連携し、進めてきた。また、国の考えに準拠した固定費・変動費を基本とする標準見積書を策定し、生産性の向上につなげている。しかし、「運用に地域差があり、粗利益額の差に開きがあるのが課題だ」と危惧する。

今後は、元請けに対して標準見積書をベースに適正価格での契約を引き続き求める。行政には予防保全の観点から切削工事の発注量増加と発注時期の平準化を提案していく考えだ。